



2024年3月期 第3四半期決算短信〔米国基準〕（連結）

2024年2月7日

上場取引所 東

上場会社名 オリックス株式会社

コード番号 8591 URL <https://www.orix.co.jp/grp/company/ir/>

代表者 (役職名) 代表執行役社長 (氏名) 井上 亮

問合せ先責任者 (役職名) グループ経理部長 (氏名) 五十嵐 陽 TEL 03-3435-3000 (代表)

四半期報告書提出予定日 2024年2月13日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満四捨五入)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		税引前四半期純利益		当社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	2,037,860	2.2	260,198	8.5	310,007	8.4	219,205	3.4
2023年3月期第3四半期	1,994,844	-	239,861	-	286,026	-	211,920	-

(注) 1. 当社株主に帰属する四半期包括利益 2024年3月期第3四半期 333,131百万円 (3.6%) 2023年3月期第3四半期 321,427百万円 (-%)

2. 2023年4月1日より会計基準書アップデート第2018-12号（長期保険契約に関する会計処理の限定的な改善—会計基準編纂書944（金融サービス—保険））（以下、「LDTI基準」）を適用し、2021年4月1日を移行日として修正遡及アプローチを適用しています。なお、2023年3月期第3四半期につきましては遡及修正後の数値を記載しておりますが、対前年同四半期増減率につきましては記載しておりません。

	1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	188.68	188.39
2023年3月期第3四半期	179.08	178.86

(2) 連結財政状態

	総資産	資本合計（純資産）	株主資本	株主資本比率
	百万円	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	15,769,189	3,805,016	3,727,404	23.6
2023年3月期	15,289,385	3,614,322	3,543,607	23.2

(注) 1. 株主資本は米国会計基準に基づき、当社株主資本合計を記載しています。

2. 株主資本比率は、当社株主資本合計を用いて算出しています。

3. 2023年4月1日よりLDTI基準を適用し、2021年4月1日を移行日として修正遡及アプローチを適用しています。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	42.80	-	42.80	85.60
2024年3月期	-	42.80	-	-	-
2024年3月期（予想）	-	-	-	51.20	94.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	当社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%
2024年3月期	330,000	20.8

(注) 直近に公表されている連結業績予想からの修正の有無：無

※注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
② ①以外の会計方針の変更：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	1,234,849,342株	2023年3月期	1,234,849,342株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	80,636,373株	2023年3月期	61,742,607株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	1,161,753,483株	2023年3月期3Q	1,183,371,646株

(注)2024年3月期第3四半期連結会計期間末および2023年3月期連結会計年度末において、役員報酬BIP信託（役員報酬のうち、将来支給する株式報酬に充当するもの）として保有する当社株式、それぞれ2,800,866株および2,800,866株は、期末自己株式数に含めていませんが、1株当たり情報の算出において控除する自己株式として含めています。

※四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいていますが、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。これらの将来に関する記述に依拠することはお控えくださるようお願いいたします。

将来に関する記述と異なる結果を生じさせる原因となる要素は、当社が関東財務局長に提出しています有価証券報告書の「事業等のリスク」、アメリカ合衆国証券取引委員会（SEC）に提出していますForm 20-Fによる報告書の「リスク要因（Risk Factors）」に記載されていますが、これらに限られるものではありません。

【添付資料の目次】

1. 当四半期決算の概況	2
(1) 連結経営成績	2
(2) 連結財政状態	8
2. 四半期連結財務諸表等	9
(1) 四半期連結貸借対照表	9
(2) 四半期連結損益計算書	11
(3) 四半期連結包括利益計算書	12
(4) 継続企業の前提に関する注記	12
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12
(6) 会計方針の変更	13
(7) セグメント情報	14
(8) 重要な後発事象	14

1. 当四半期決算の概況

(1) 連結経営成績

第3四半期連結累計期間の経営成績

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減	増減率
営業収益 (百万円)	1,994,844	2,037,860	43,016	2%
営業費用 (百万円)	1,754,983	1,777,662	22,679	1%
税引前四半期純利益 (百万円)	286,026	310,007	23,981	8%
当社株主に帰属する四半期純利益 (百万円)	211,920	219,205	7,285	3%
1株当たり当社株主に帰属する 四半期純利益 (基本的) (円)	179.08	188.68	9.60	5%
(希薄化後) (円)	178.86	188.39	9.53	5%
ROE (当社株主資本・当社株主に帰属する 四半期純利益率、年換算) (%)	8.3	8.0	△0.3	—
ROA (総資本・当社株主に帰属する 四半期純利益率、年換算) (%)	1.96	1.88	△0.08	—

(注) 1. ROEは、米国会計基準に基づき、当社株主資本合計を用いて算出しています。

2. 2023年4月1日より、会計基準書アップデート第2018-12号（長期保険契約に関する会計処理の限定的な改善—会計基準編纂書944（金融サービス—保険））（以下、「LDTI基準」）を適用し、2021年4月1日を移行日として修正遡及アプローチを適用しています。

業績総括（2023年4月1日から2023年12月31日まで）

当第3四半期連結累計期間の営業収益は、商品および不動産売上高が減少したものの、金融収益やオペレーティング・リース収益、生命保険料収入および運用益が増加したため、前年同期の1,994,844百万円に比べて2%増の2,037,860百万円になりました。

営業費用は、商品および不動産売上原価が減少したものの、支払利息や販売費および一般管理費が増加したため、前年同期の1,754,983百万円に比べて1%増の1,777,662百万円になりました。

また、持分法投資損益は前年同期に比べて19,956百万円増の38,231百万円になりました。子会社・関連会社株式売却損益および清算損は前年同期に比べて15,294百万円減の11,578百万円になりました。

以上により、当第3四半期連結累計期間の税引前四半期純利益は、前年同期の286,026百万円に比べて8%増の310,007百万円、当社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期の211,920百万円に比べて3%増の219,205百万円になりました。

セグメント別動向

当第3四半期連結累計期間のセグメント利益は、前年同期に比べて9%増の319,236百万円となりました。

2023年4月1日より、セグメント間の協業にかかる利益配分の算入対象を広げてセグメント利益を算出しています。これに伴い、前第3四半期連結累計期間のセグメント数値を組替再表示しています。

2023年4月1日より、LDTI基準を適用し、2021年4月1日を移行日として修正遡及アプローチを適用しています。これに伴い、前第3四半期連結累計期間および前連結会計年度末の保険セグメントの数値を組替再表示しています。詳細については、「(6) 会計方針の変更（新たに適用された会計基準）」をご参照ください。

各セグメントの当第3四半期連結累計期間の動向は以下のとおりです。

法人営業・メンテナンスリース：金融・各種手数料ビジネス、自動車および電子計測器・ICT関連機器などのリースおよびレンタル

	前第3四半期 連結累計期間 (百万円)	当第3四半期 連結累計期間 (百万円)	増減	
			金額 (百万円)	率 (%)
セグメント利益	58,166	59,187	1,021	2

	前連結会計 年度末 (百万円)	当第3四半期 連結会計期間末 (百万円)	増減	
			金額 (百万円)	率 (%)
セグメント資産	1,514,070	1,505,679	△8,391	△1

セグメント利益は、販売費および一般管理費が増加したものの、有価証券売却・評価損益および受取配当金やオペレーティング・リース収益が増加したことにより、前年同期に比べて2%増の59,187百万円になりました。

セグメント資産は、オペレーティング・リース投資が増加したものの、営業貸付金が減少したことにより、前連結会計年度末に比べて1%減の1,505,679百万円になりました。

不動産：不動産開発・賃貸・管理、施設運営、不動産のアセットマネジメント

	前第3四半期 連結累計期間 (百万円)	当第3四半期 連結累計期間 (百万円)	増減	
			金額 (百万円)	率 (%)
セグメント利益	24,536	51,434	26,898	110

	前連結会計 年度末 (百万円)	当第3四半期 連結会計期間末 (百万円)	増減	
			金額 (百万円)	率 (%)
セグメント資産	935,027	1,005,620	70,593	8

セグメント利益は、運営施設のサービス収入や持分法投資損益が増加したことにより、前年同期に比べて110%増の51,434百万円になりました。

セグメント資産は、棚卸資産が増加したことにより、前連結会計年度末に比べて8%増の1,005,620百万円になりました。

事業投資・コンセッション：企業投資、コンセッション

	前第3四半期 連結累計期間 (百万円)	当第3四半期 連結累計期間 (百万円)	増減	
			金額 (百万円)	率 (%)
セグメント利益	6,857	22,953	16,096	235

	前連結会計 年度末 (百万円)	当第3四半期 連結会計期間末 (百万円)	増減	
			金額 (百万円)	率 (%)
セグメント資産	605,471	800,829	195,358	32

セグメント利益は、コンセッションにおいて関西3空港からの持分法投資損益が増加したことにより、前年同期に比べて235%増の22,953百万円になりました。

セグメント資産は、国内事業投資において営業貸付金や投資有価証券が増加したことにより、前連結会計年度末に比べて32%増の800,829百万円になりました。

環境エネルギー：国内外再生可能エネルギー、電力小売、省エネルギーサービス、ソーラーパネル・蓄電池販売、廃棄物処理、資源リサイクル

	前第3四半期 連結累計期間 (百万円)	当第3四半期 連結累計期間 (百万円)	増減	
			金額 (百万円)	率 (%)
セグメント利益	31,812	19,844	△11,968	△38

	前連結会計 年度末 (百万円)	当第3四半期 連結会計期間末 (百万円)	増減	
			金額 (百万円)	率 (%)
セグメント資産	773,617	845,999	72,382	9

セグメント利益は、前年同期に投資先の一部売却により子会社・関連会社株式売却損益を計上したことの反動により、前年同期に比べて38%減の19,844百万円になりました。

セグメント資産は、主に為替影響により、前連結会計年度末に比べて9%増の845,999百万円になりました。

保険：生命保険

	前第3四半期 連結累計期間 (百万円)	当第3四半期 連結累計期間 (百万円)	増減	
			金額 (百万円)	率 (%)
セグメント利益	26,563	53,446	26,883	101

	前連結会計 年度末 (百万円)	当第3四半期 連結会計期間末 (百万円)	増減	
			金額 (百万円)	率 (%)
セグメント資産	2,050,412	2,205,723	155,311	8

セグメント利益は、オリックス生命保険株式会社において前年同期に給付金の支払いで生命保険費用を計上した反動により、前年同期に比べて101%増の53,446百万円になりました。

セグメント資産は、投資有価証券が増加したことにより、前連結会計年度末に比べて8%増の2,205,723百万円になりました。

銀行・クレジット：銀行、消費性ローン

	前第3四半期 連結累計期間 (百万円)	当第3四半期 連結累計期間 (百万円)	増減	
			金額 (百万円)	率 (%)
セグメント利益	24,868	26,911	2,043	8

	前連結会計 年度末 (百万円)	当第3四半期 連結会計期間末 (百万円)	増減	
			金額 (百万円)	率 (%)
セグメント資産	2,698,747	2,750,529	51,782	2

セグメント利益は、信用損失費用が増加したものの、金融収益や有価証券売却・評価損益および受取配当金が増加したことにより、前年同期に比べて8%増の26,911百万円になりました。

セグメント資産は、営業貸付金が増加したことにより、前連結会計年度末に比べて2%増の2,750,529百万円になりました。

輸送機器：航空機投資・管理、船舶関連投融資

	前第3四半期 連結累計期間 (百万円)	当第3四半期 連結累計期間 (百万円)	増減	
			金額 (百万円)	率 (%)
セグメント利益	17,007	16,118	△889	△5

	前連結会計 年度末 (百万円)	当第3四半期 連結会計期間末 (百万円)	増減	
			金額 (百万円)	率 (%)
セグメント資産	742,890	866,074	123,184	17

セグメント利益は、船舶関連事業において前年同期に保有船の売却でオペレーティング・リース収益を計上したことの反動により、前年同期に比べて5%減の16,118百万円になりました。

セグメント資産は、オペレーティング・リース投資が増加したこと、および為替影響で関連会社投資が増加したことにより、前連結会計年度末に比べて17%増の866,074百万円になりました。

ORIX USA：米州における金融、投資、アセットマネジメント

	前第3四半期 連結累計期間 (百万円)	当第3四半期 連結累計期間 (百万円)	増減	
			金額 (百万円)	率 (%)
セグメント利益	33,032	27,832	△5,200	△16

	前連結会計 年度末 (百万円)	当第3四半期 連結会計期間末 (百万円)	増減	
			金額 (百万円)	率 (%)
セグメント資産	1,462,067	1,451,242	△10,825	△1

セグメント利益は、サービス収入が増加したものの、有価証券売却・評価損益および受取配当金が減少したことにより、前年同期に比べて16%減の27,832百万円になりました。

セグメント資産は、全般的に為替影響で増加したものの、営業貸付金が減少したことにより、前連結会計年度末に比べて1%減の1,451,242百万円になりました。

ORIX Europe：グローバル株式・債券のアセットマネジメント

	前第3四半期 連結累計期間 (百万円)	当第3四半期 連結累計期間 (百万円)	増減	
			金額 (百万円)	率 (%)
セグメント利益	35,893	20,815	△15,078	△42

	前連結会計 年度末 (百万円)	当第3四半期 連結会計期間末 (百万円)	増減	
			金額 (百万円)	率 (%)
セグメント資産	417,941	444,895	26,954	6

セグメント利益は、ORIX Corporation Europe N.V. への投資にかかる支払利息が増加したことにより、前年同期に比べて42%減の20,815百万円になりました。

セグメント資産は、主に為替影響により、前連結会計年度末に比べて6%増の444,895百万円になりました。

アジア・豪州：アジア・豪州における金融、投資

	前第3四半期 連結累計期間 (百万円)	当第3四半期 連結累計期間 (百万円)	増減	
			金額 (百万円)	率 (%)
セグメント利益	34,457	20,696	△13,761	△40

	前連結会計 年度末 (百万円)	当第3四半期 連結会計期間末 (百万円)	増減	
			金額 (百万円)	率 (%)
セグメント資産	1,395,096	1,558,524	163,428	12

セグメント利益は、前年同期に投資先の売却に伴い子会社・関連会社株式売却損益を計上したことの反動、および信用損失費用が増加したことにより、前年同期に比べて40%減の20,696百万円になりました。

セグメント資産は、全般的に為替影響で増加したこと、およびリース純投資が増加したことにより、前連結会計年度末に比べて12%増の1,558,524百万円になりました。

（2）連結財政状態

資産、負債、株主資本の状況

	前連結会計 年度末	当第3四半期 連結会計期間末	増減	増減率
総資産 (百万円)	15,289,385	15,769,189	479,804	3%
（うち、セグメント資産）	12,595,338	13,435,114	839,776	7%
負債合計 (百万円)	11,674,118	11,962,328	288,210	2%
（うち、長短借入債務）	5,718,519	5,980,619	262,100	5%
（うち、預金）	2,246,345	2,228,454	△17,891	△1%
当社株主資本 (百万円)	3,543,607	3,727,404	183,797	5%
1株当たり当社株主資本 (円)	3,027.93	3,237.25	209.32	7%

（注）1. 株主資本は米国会計基準に基づき、当社株主資本合計を記載しています。

2. 1株当たり株主資本は、当社株主資本合計を用いて算出しています。

3. 2023年4月1日よりLDTI基準を適用し、2021年4月1日を移行日として修正遡及アプローチを適用しています。

総資産は、現金および現金等価物が減少したものの、リース純投資やオペレーティング・リース投資、投資有価証券、関連会社投資が増加したことで、前連結会計年度末に比べて3%増の15,769,189百万円になりました。また、セグメント資産は、前連結会計年度末に比べて7%増の13,435,114百万円になりました。

負債については、支払手形、買掛金および未払金が減少したものの、短期借入債務や長期借入債務が増加したことで、前連結会計年度末に比べて2%増の11,962,328百万円になりました。

当社株主資本は、前連結会計年度末から5%増の3,727,404百万円になりました。

2. 四半期連結財務諸表等

(1) 四半期連結貸借対照表（米国会計基準）

（単位：百万円）

	前連結会計年度末 (2023年3月31日)	当第3四半期 連結会計期間末 (2023年12月31日)		前連結会計年度末 (2023年3月31日)	当第3四半期 連結会計期間末 (2023年12月31日)
現金および現金等価物	1,231,860	904,289	短期借入債務	508,796	646,903
使途制限付現金	135,048	140,806	預金	2,246,345	2,228,454
リース純投資	1,087,563	1,157,610	支払手形、買掛金および未払金	366,851	330,553
営業貸付金	3,877,602	3,890,560	保険契約債務および保険契約者勘定	1,832,057	1,858,493
(公正価値オプションを選択し、 公正価値評価した下記の金額を含む)			(公正価値オプションを選択し、 公正価値評価した下記の金額を含む)		
2023年3月31日	197,041百万円		2023年3月31日	163,734百万円	
2023年12月31日	121,135百万円		2023年12月31日	157,813百万円	
信用損失引当金	△64,723	△68,031	未払法人税等	454,262	509,011
オペレーティング・リース投資	1,537,178	1,723,133	長期借入債務	5,209,723	5,333,716
投資有価証券	2,940,858	3,274,553	その他負債	1,056,084	1,055,198
(公正価値オプションを選択し、 公正価値評価した下記の金額を含む)					
2023年3月31日	22,874百万円		(負債合計)	11,674,118	11,962,328
2023年12月31日	27,266百万円				
(下記の売却可能負債証券の償却原価と 信用損失引当金を含む)			償還可能非支配持分	945	1,845
2023年3月31日			契約債務および偶発債務		
償却原価	2,488,858百万円				
信用損失引当金	△144百万円				
2023年12月31日					
償却原価	2,866,811百万円				
信用損失引当金	△594百万円				
事業用資産	620,994	661,337			
関連会社投資	1,000,704	1,101,560			
(公正価値オプションを選択し、 公正価値評価した下記の金額を含む)					
2023年3月31日	2,511百万円				
2023年12月31日	5,737百万円				
受取手形、売掛金および未収入金	441,803	381,522	資本金	221,111	221,111
棚卸資産	169,021	231,186	資本剰余金	233,169	233,750
社用資産	253,649	249,468	利益剰余金	3,054,448	3,173,754
その他資産	2,057,828	2,121,196	その他の包括利益累計額	156,135	269,896
(公正価値オプションを選択し、 公正価値評価した下記の金額を含む)			自己株式（取得価額）	△121,256	△171,107
2023年3月31日	4,676百万円		(当社株主資本合計)	3,543,607	3,727,404
2023年12月31日	3,433百万円		非支配持分	70,715	77,612
			(資本合計)	3,614,322	3,805,016
資産合計	15,289,385	15,769,189	負債・資本合計	15,289,385	15,769,189

(注) 1 その他の包括利益累計額内訳

	前連結会計年度末	当第3四半期 連結会計期間末
未実現有価証券評価損益	△183,034	△236,108
保険契約債務割引率変動影響	164,516	229,182
金融負債評価調整	275	126
確定給付年金制度	△3,617	△3,695
為替換算調整勘定	155,912	261,378
未実現デリバティブ評価損益	22,083	19,013
	<u>156,135</u>	<u>269,896</u>

(注) 2 2023年4月1日よりLDTI基準を適用し、2021年4月1日を移行日として修正遡及アプローチを適用しています。

(2) 四半期連結損益計算書（米国会計基準）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）
営業収益		
金融収益	237,008	258,839
有価証券売却・評価損益および受取配当金	19,168	16,617
オペレーティング・リース収益	368,760	391,436
生命保険料収入および運用益	356,317	394,012
商品および不動産売上高	316,979	261,439
サービス収入	696,612	715,517
営業収益計	1,994,844	2,037,860
営業費用		
支払利息	88,631	138,594
オペレーティング・リース原価	249,541	266,402
生命保険費用	287,792	300,798
商品および不動産売上原価	272,979	187,249
サービス費用	421,259	410,379
その他の損益	12,373	187
販売費および一般管理費	412,287	458,936
信用損失費用	7,707	14,212
長期性資産評価損	1,807	643
有価証券評価損	607	262
営業費用計	1,754,983	1,777,662
営業利益	239,861	260,198
持分法投資損益	18,275	38,231
子会社・関連会社株式売却損益および清算損	26,872	11,578
バーゲン・パーチェス益	1,018	—
税引前四半期純利益	286,026	310,007
法人税等	68,836	92,382
四半期純利益	217,190	217,625
非支配持分に帰属する四半期純利益（△損失）	5,247	△1,645
償還可能非支配持分に帰属する四半期純利益	23	65
当社株主に帰属する四半期純利益	211,920	219,205

（注）2023年4月1日よりLDTI基準を適用し、2021年4月1日を移行日として修正遡及アプローチを適用しています。

（3）四半期連結包括利益計算書（米国会計基準）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）
四半期純利益	217,190	217,625
その他の包括利益（△損失）		
未実現有価証券評価損益	△182,383	△53,066
保険契約債務割引率変動影響	169,383	64,666
金融負債評価調整	12	△149
確定給付年金制度	△192	△84
為替換算調整勘定	107,330	106,651
未実現デリバティブ評価損益	21,177	△3,012
その他の包括利益 計	115,327	115,006
四半期包括利益	332,517	332,631
非支配持分に帰属する四半期包括利益（△損失）	11,065	△639
償還可能非支配持分に帰属する四半期包括利益	25	139
当社株主に帰属する四半期包括利益	321,427	333,131

（注）2023年4月1日よりLDTI基準を適用し、2021年4月1日を移行日として修正遡及アプローチを適用しています。

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（6）会計方針の変更

（新たに適用された会計基準）

2018年8月、会計基準書アップデート第2018-12号（長期保険契約に関する会計処理の限定的な改善—会計基準編纂書944（金融サービス—保険））が公表され、その後に公表されたアップデートにより、当初の適用日は2年延期されました。これらのアップデートは、保険会社が発行する長期保険契約の認識、測定、表示および開示要求を変更しています。これらのアップデートは、保険会社に対し、有配当契約ではない伝統的な長期保険契約および短期払い契約に係る将来保険給付債務の測定に関して、使用するキャッシュ・フローの見積もりの前提を少なくとも年1回見直すことを要求するとともに、もし変更があれば前提を更新することを要求し、また、割引率を各報告期間の末日に更新することを要求しています。割引率の変更による影響は、その他の包括利益（損失）として計上されます。また、これらのアップデートは、市場リスクを伴う給付を公正価値で測定することを要求し、繰延募集費用の償却方法を簡素化しています。さらに、これらのアップデートは、長期保険契約について新たな開示を要求しています。これらのアップデートは、2022年12月15日より後に開始する会計年度およびその期中期間から適用されます。また、早期適用が認められています。これらのアップデートは、将来保険給付債務および繰延募集費用については、表示される最も古い会計期間の期首（以下、これらのアップデートの「移行日」）時点で有効な契約に対して修正遡及アプローチが適用され、遡及適用も認められています。市場リスクを伴う給付については、移行日より遡及して適用され、移行日における公正価値と帳簿価額の差額は、利益剰余金を調整します。ただし、契約日から移行日までの期間の割引率の変動による累積的影響額は、移行日にその他の包括利益累計額に計上します。当社および子会社は、修正遡及アプローチを適用し、これらのアップデートの適用日を2023年4月1日とし、その移行日を2021年4月1日としています。これらのアップデートの適用により、将来保険給付債務の測定方法等を変更しています。また、当社および子会社の移行日における財政状態への影響は、連結貸借対照表上、保険契約債務28,937百万円の増加、保険契約債務割引率変動調整（その他の包括利益累計額）24,641百万円の減少です。これらは金利の変動（主に円金利の低下）に伴う適用割引率の変更によるものです。繰延募集費用（その他資産）は移行日直前の残高を引き継いでいます。また、2022年3月31日時点における財政状態および同日に終了した連結会計年度の経営成績への影響は、連結貸借対照表上、繰延募集費用（その他資産）10,012百万円の増加、保険契約債務50,925百万円の減少、保険契約債務割引率変動調整（その他の包括利益累計額）37,536百万円の増加、利益剰余金5,241百万円の増加となり、連結損益計算書上、生命保険費用4,571百万円の減少です。これらは主に金利の変動（主に米ドル金利の上昇）に伴う適用割引率変更および繰延募集費用の償却期間変更によるものです。さらに、2023年3月31日時点における財政状態および同日に終了した連結会計年度の経営成績への影響は、連結貸借対照表上、繰延募集費用（その他資産）23,194百万円の増加、保険契約債務233,309百万円の減少、保険契約債務割引率変動調整（その他の包括利益累計額）164,516百万円の増加、利益剰余金22,506百万円の増加となり、連結損益計算書上、生命保険費用25,010百万円の減少です。これらは主に金利の変動（主に米ドル金利の上昇）に伴う適用割引率変更、給付金実績の予測との乖離による純保険料率の更新に伴う保険契約債務の戻入および繰延募集費用の償却期間変更によるものです。

(7) セグメント情報（米国会計基準）

事業の種類別セグメント情報

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）		当第3四半期連結累計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）		前連結会計年度末 （2023年3月31日）	当第3四半期 連結会計期末 （2023年12月31日）
	セグメント収益	セグメント利益	セグメント収益	セグメント利益	セグメント資産	セグメント資産
法人営業・ メンテナンスリース	321,647	58,166	331,794	59,187	1,514,070	1,505,679
不動産	288,293	24,536	337,365	51,434	935,027	1,005,620
事業投資・ コンセッション	312,090	6,857	269,064	22,953	605,471	800,829
環境エネルギー	168,419	31,812	123,951	19,844	773,617	845,999
保険	360,085	26,563	397,875	53,446	2,050,412	2,205,723
銀行・クレジット	62,324	24,868	65,059	26,911	2,698,747	2,750,529
輸送機器	42,369	17,007	44,809	16,118	742,890	866,074
ORIX USA	135,261	33,032	133,471	27,832	1,462,067	1,451,242
ORIX Europe	157,653	35,893	164,419	20,815	417,941	444,895
アジア・豪州	142,719	34,457	160,741	20,696	1,395,096	1,558,524
セグメント計	1,990,860	293,191	2,028,548	319,236	12,595,338	13,435,114
四半期連結財務諸表（連 結財務諸表）との調整	3,984	△7,165	9,312	△9,229	2,694,047	2,334,075
連結合計	1,994,844	286,026	2,037,860	310,007	15,289,385	15,769,189

- (注) 1. 当社の業績評価は、税引前四半期純利益に税効果控除前の非支配持分に帰属する四半期純利益および償還可能非支配持分に帰属する四半期純利益を加減しています。なお、セグメント利益には税金費用は含まれていません。
2. 2023年4月1日より、セグメント間の協業にかかる利益配分の算入対象を広げてセグメント利益を算出しています。これに伴い、前第3四半期連結累計期間のセグメント数値を組替再表示しています。
3. 2023年4月1日より、LDTI基準を適用し、2021年4月1日を移行日として修正遡及アプローチを適用しています。これに伴い、前第3四半期連結累計期間および前連結会計年度末の保険セグメントの数値を組替再表示しています。詳細については、「(6) 会計方針の変更（新たに適用された会計基準）」をご参照ください。
4. セグメント間の取引を各セグメント収益に含めて計上し、その消去を四半期連結財務諸表との調整に含めて計上しています。

(8) 重要な後発事象

自己株式の消却

当社は、2019年10月28日開催の取締役会決議に基づく自己株式の消却を実施しました。決算日後に消却した自己株式は、以下のとおりです。

- ・消却した株式の種類：当社普通株式
- ・消却した株式の数：19,888,288株
- ・消却日：2024年1月19日